英雄伝説
空の軌跡SC
ソラノキセキSC
～絆の在り処～
2
漫画 啄木鳥しんき
原作 日本ファルコム

前巻までのあらすじ

元・リベール王国軍のカノーネを首謀者とした暴動は収束を迎えた。しかし、それを影で操っていた結社《身喰らう蛇》の全容は依然として知れない。

そんな中、ボース地方でドロシーがヨシュアを目撃したという情報がもたらされる。飛行船でボースへ向かうエステル一行だったが、濃い霧のためエステルの故郷ロレントでの足止めを余儀なくされる。懐かしい再会のあったあくる朝、町は人々が次々と倒れるという異変に見舞われた。

すべての状況から、ひとつの結論へと辿り着いていたシェラザードの前に、ひとりの美女が姿を

英雄伝説

空の軌跡SC

ソラノキセキSC

～絆の在り処～

2

漫画　啄木鳥しんき

原作　日本ファルコム

第６話　…………005

第７話　…………025

第８話　…………045

第９話　…………060

第10話　…………087

第11話　…………097

第12話　…………128

初出
月刊ファルコムマガジンVol.75～80,82掲載

現す。執行者No.Ⅵ《幻惑の鈴》ルシオラ。かつてシェラザードが姉と慕ったその女性は、《身喰らう蛇》の執行者へとその身を堕としていたのだ。

ルシオラの幻術により、夢の世界へと引き込まれたエステル。そこは、父・カシウスと母・レナとともに暮らした幸せな記憶だけがある世界だった。しかし、そのことに強い喪失感を覚えたエステルは、正気を取り戻し、レナに別れを告げ、現実へと戻ってゆく。

一方、ヨシュアは、カプア空賊団とともに、王国軍に拿捕された空賊艇を奪取する作戦を実行に移していた。たまたま居合わせた帝国軍のミュラー少佐との一騎打ちを躱し、その場を離脱するヨシュア。

そして、《身喰らう蛇》のワイスマンは次なる騒乱の種を、新たな執行者に託すのだった……！

ギャァ
ギャァ
なんなんだ
この魔獣どもは…
ギャァァ

突然変異？
凶暴化？
いや…
なにかに怯えているような…
…そうだ
この感じ

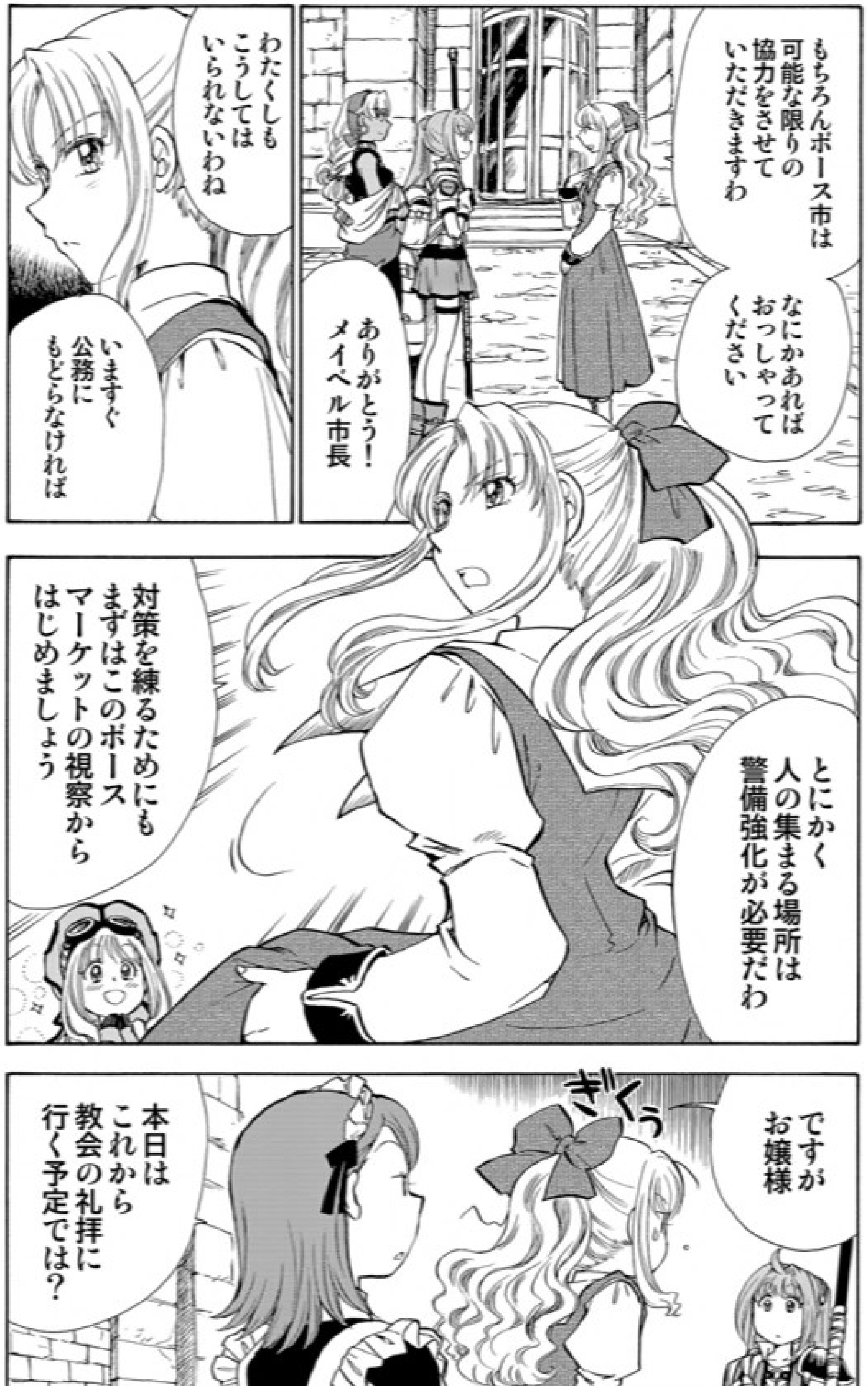
まるで
あの時と同じ

うわあーっ
大きな建物ー！

あれはボースマーケットね
マーケット？市場なの!?
そうよ
中にたっくさんのお店が集まってる屋内市場なのよ
そーなんだ！
導力器（オーブメント）とかも売ってるのかなぁ
あれ？
ティータはボースに来るの初めて？
うん そーなの
だから…
…って寄り道してる場合じゃないよね
ま…まずは協会支部へ行かないと！

ボースマーケットは
ここ商業都市
ボースが誇る
リベール最大の
屋内市場なんですから
ふふ
では用事がすんだら
ぜひ一度お立ち寄り
くださいね
あ…
はい!
えっと…
あなたは…
申し遅れましたわ
わたくし
このボースで
市長を務めて
おります
メイペルと
申します

市長さん!?
お久しぶりです
メイペル市長
ごきげんよう
みなさん
飛行船失踪事件では
大変お世話に
なりましたね
それに
おそらく
今回も…
聞き及んで
おりますわ
遊撃士協会の
精鋭チームが
王国全土を騒がす
国際犯罪組織を
追っていらっしゃる
のだとか
そして
みなさんが
ボースに
いらしたと
いうことは…


もちろんボース市は可能な限りの協力をさせていただきますわ
なにかあればおっしゃってください
ありがとう！メイベル市長
わたくしもこうしてはいられないわね
いますぐ公務にもどらなければ
とにかく人の集まる場所は警備強化が必要だわ
対策を練るためにもまずはこのボースマーケットの視察からはじめましょう
ですがお嬢様
ぎくぅ
本日はこれから教会の礼拝に行く予定では？

い…いやねリラ…
そんなことをしてる場合ではないでしょう？
しかし日々の生活習慣を守るのもお嬢様には大切なことです
も…もちろん礼拝にはそのあと必ず行くわよ…
ですがお嬢様先日もそんなことをおっしゃいながら結局お行きになりませんでしたが？
その前は私をお祈りの代理人として教会に置き去りにしたあげく ご自身は華麗にサボリをきめこんで…
ああんもうっ
わかったわよリラ！
それではわたくしたちはこの辺で
民間人を巻き込むのはどうかとも思うけど
街ぐるみで《結社》に備えてくれてるなんて心強いわね
その分あたしたちはしっかり頑張らなくっちゃね！

おお！よく来てくれたの！
ロレントからわざわざご苦労じゃったな
たいしたことないわよ 飛行船に乗ればひとっ飛びだもの
それもそうじゃな 導力器(オーブメント)のおかげで便利な世の中になったもんじゃわい
それでルグラン爺さん
ボースの状況はどんな感じ？

ボース市街に限っては飛行船の事件以来目立った騒ぎも起こらず平穏な毎日じゃよ
これは街全体に目を光らせ未然にトラブルを防ぐ現ボース市長の手腕によるものじゃな
郊外に関しても例の空賊艇奪還事件で王国軍の警戒が厳しくなっておるし
《結社》といえども今のボース地方で事を起こすのは一筋縄ではいかんじゃろう
でも油断は禁物よ
これまでも結社は想像もつかないようなやり方で攻めてきたんだし
うむ その通りじゃな

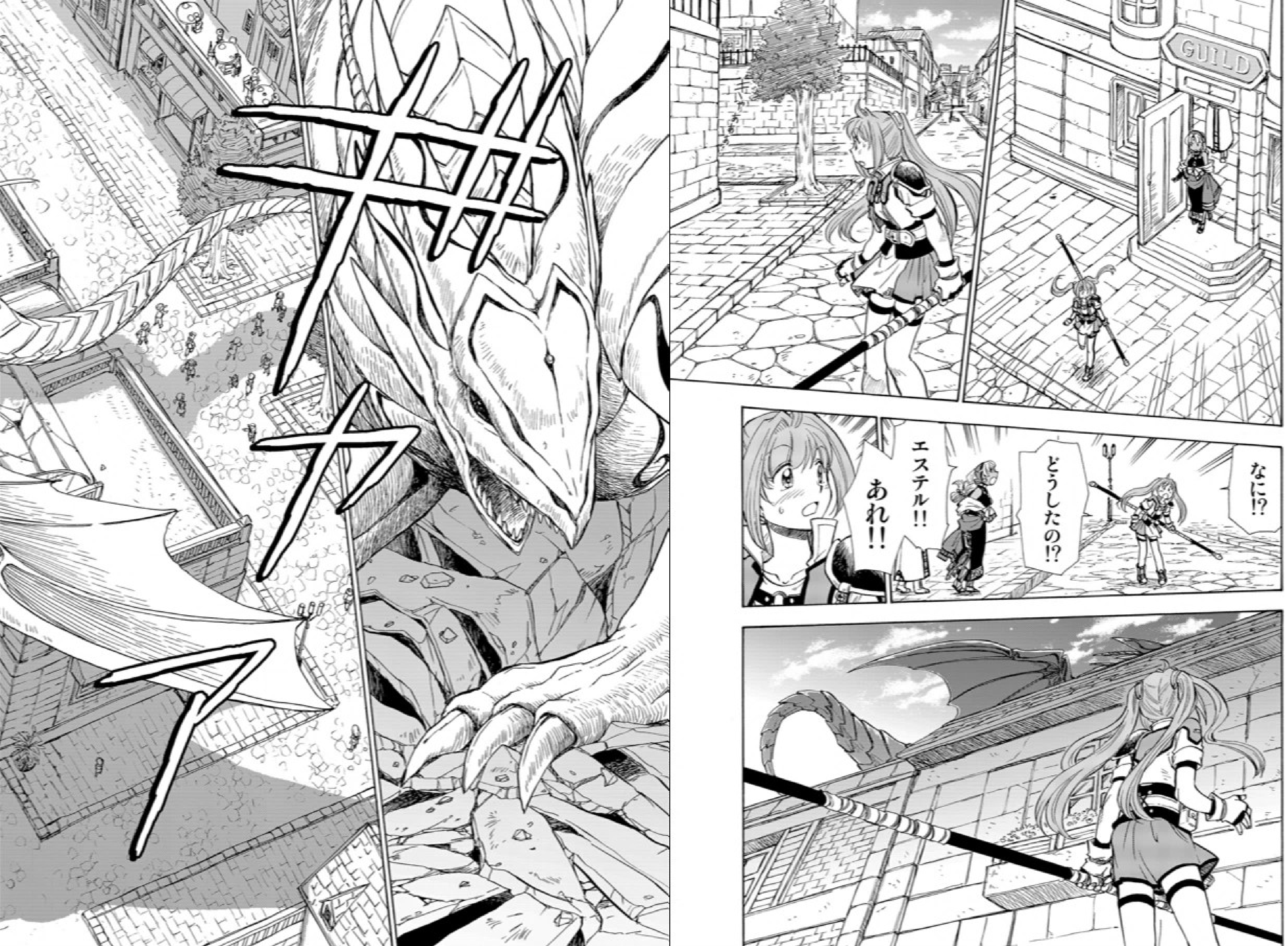
あえて言うなら…
ちと魔獣が増えておるくらいか
魔獣!?
もともとボース地方は魔獣の多い地域ではあるんじゃが
特にここ数日は凶暴な魔獣の出現報告が多数寄せられとるんじゃ
それじゃあ…
スッ
その件についても心配は無用じゃよ
一足先にツァイスから駆けつけた《重剣》が
魔獣退治にあたってくれとるでな

《重剣》って
アガットさんが!?
真新しい武器ではりきっとるわい
ぎゃあああぁ
そろそろ一段落して協会に戻ってくる頃じゃろうよ
それともうひとつ朗報じゃ
クルツとカルナグラッツアネラスの探索チームの方じゃがな
どうやらもう少しで
《結社》の拠点を突き止められるらしいんじゃ

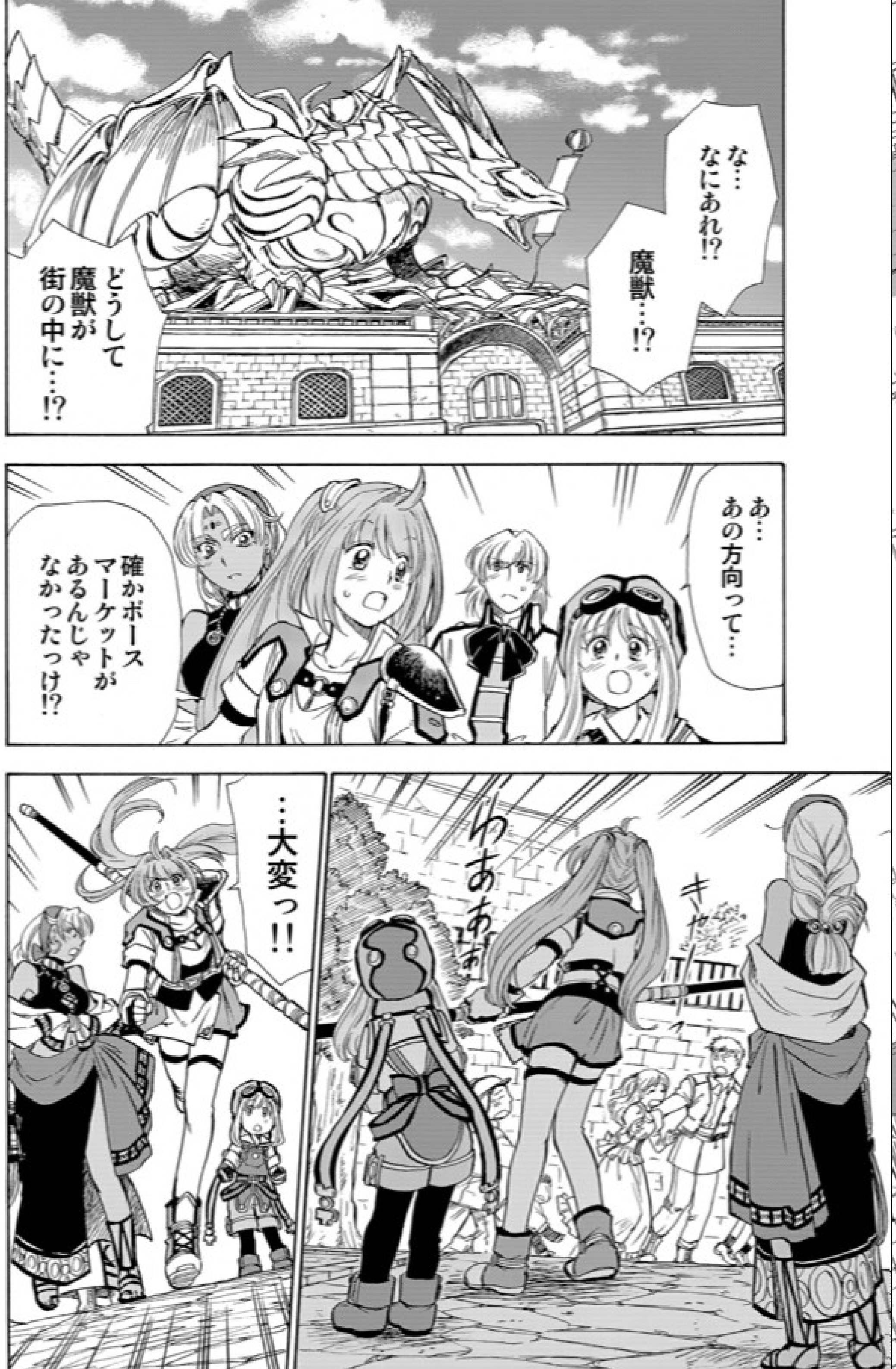
本拠地が押さえられれば戦局は一気に変えられるじゃろう
彼らの索敵を成功させるためにも
あたしたちがこの地での実験を
確実に止めなければならないのね
《結社》がどう出るかわからんが
今できる限りの対策は講じたつもりじゃ
あとはおまえさんたちに託す!
頼んだぞ!

ふっ

わ…
きゃああ…!!
ドォーン
なっ　なんじゃ!?
今の…
外から!?


なに!?
どうしたの!?
エステル!!
あれ!!

アァァァ


な…
なにあれ!?
魔獣…!?
どうして
魔獣が
街の中に…!?
あ…
あの方向って…
確かボース
マーケットが
あるんじゃ
なかったっけ!?
…大変っ!!

ギシャアアアア
みんな早く!! マーケットから外へ!!
出口は東西南北4ヶ所にあります!!
急いで避難を!!

お嬢様！
お嬢様も早く外へ！
東口の誘導をお願い!!
外へ出たら皆を教会へ…
はいっ
お嬢様!!
えっ
どん!!
きゃあ!?
すってーん
お嬢様!?
申し訳…

ドォーン
リラ!?

なんなのよ これ…!
こんな大きい魔獣見たことないわ…!
いいや! 魔獣などではない!
おそらくこいつは竜じゃ!
竜!?
昔からリベールに棲息してると言われとった伝説の生き物
古代竜というやつじゃよ!
なぜそんな存在が人の街を襲うの!?
まさか これも
《結社》の仕業…
…まあ
否定はすまい
その顔! あんた…!
情報部のロランス少尉!!

フフ
それはただの偽名だ
執行者No.II《剣帝》レオンハルト
以後 そう呼ぶといい
《剣帝》
レオンハルト!!
やっぱりロランス少尉は結社の人間だったのね!!
その竜を連れて来たのもあんたなの!?
今度はいったい
何をする気なのよ!!
ギャアアア
ゴオオオ

ゴオオォ
ゴオオ
街を焼くつもり!?
…やめて!!
ひどいことしないで!!
え…

今回の実験は少しばかり変則的でな
正直おまえたちの手に負える事件ではない
王国軍にでも任せておとなしくしておくのだな
あ…
あいつは……!!

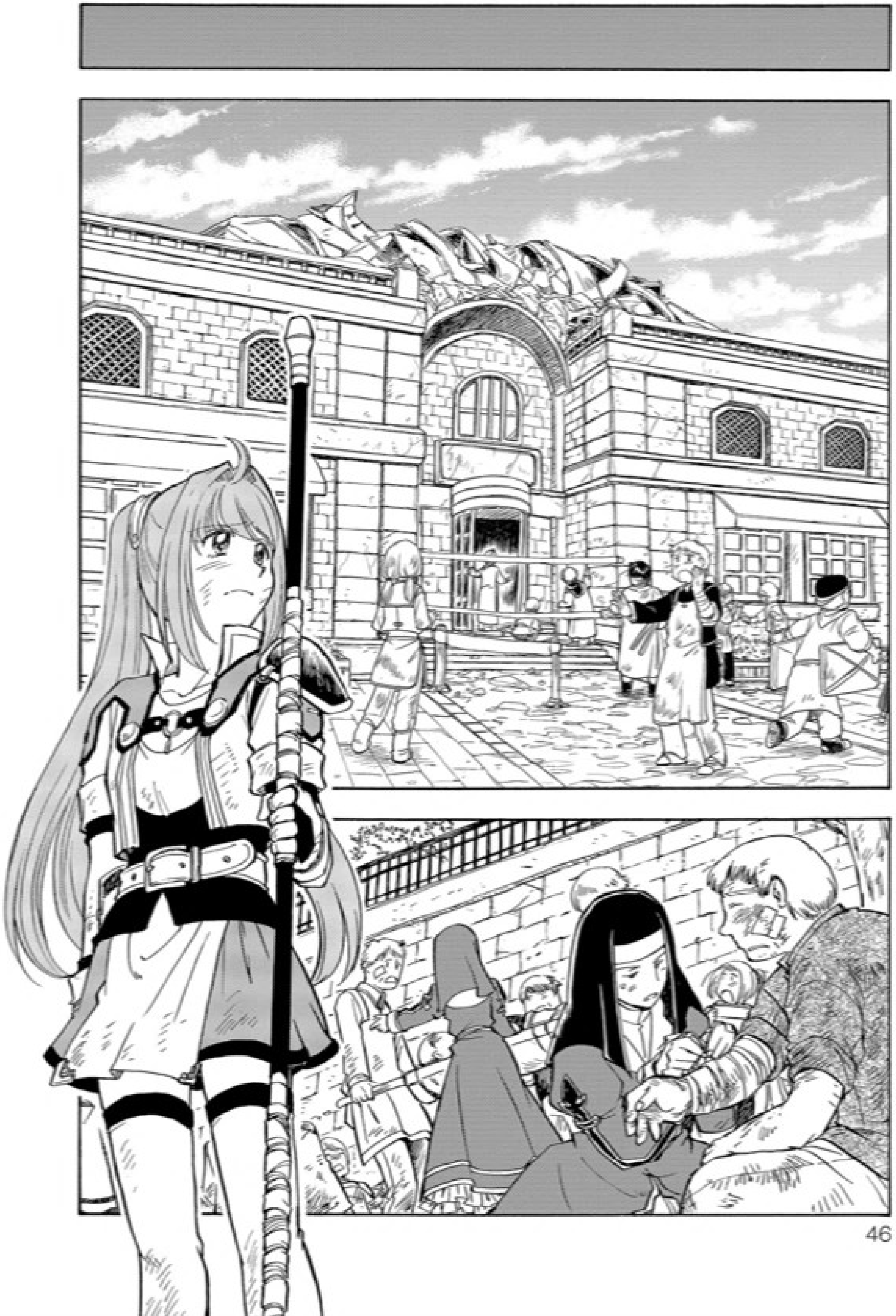
飛んだ!!
ま…
待てや!!
コラァ!!
アガットさん!!

マーケットの中に
まだ逃げ遅れた人たちが…!!
あ
あんですって!?
ちくしょう!!
どっちへ行きやがった!!

どうしよう!
このままじゃ逃がしちゃう!
俺がやつを追跡する!!
おまえらは街の被害状況を確認しておけ!!
あとで連絡する!!
アガット!?
ちょ…
ちょっと待って!!
誰か!!
手を貸してくれ!!

…くそっ！あの野郎！
よりにもよってあんな街中で…

なんなんだよ！
この胸騒ぎは！
あの日も
こんな…



ゴオオオオオオオオ

ありがとうございます
マーケット内に取り残されていた人々も全員助け出すことができましたわ
これほどの被害にも関わらず死者を出さずに済んだのが幸いでした
これもみなさんが迅速に救助活動をおこなってくださったおかげですわ
遊撃士協会のご協力に心から感謝いたします
あの…
大丈夫？メイベル市長…
その…
リラさんのことか…

…負傷者は教会の方々が中心となってそれぞれ対処してくださっています
治療活動に関しては治療の専門家に任せておきましょう
もちろん
私にも己のなすべきことがありますし
今は感傷にひたっている場合ではありませんわ
ところで…市場の崩壊は巨大な魔獣が原因だとか
ええ
その件に関してはこちらでも調査をはじめるつもりです
また現在逃走した犯人を
アガットという優秀な遊撃士が追跡中です

早く協会に戻って報告を済ませましょ!
これ以上ロランス少尉を野放しになんかできないわ!
ロランス少尉…いえ
執行者No.II《剣帝》レオンハルトね
「獅子の果敢(レオンハルト)」か
「獅子(レーヴェ)」というのは彼の愛称だったというわけだね
あんな化物を持ち出して人が一番集まる場所を襲うなんて!
それでもし誰かがケガしたり
…死んだりしたとしても
あいつはなんとも思わないっていうの!?

彼なら必ず行方をつきとめて…
どうしたの市長さん
何かあった?
はっ
い…いえ…
もう昔の話ですわ…
…そうよ
過去なんて
今ある問題の解決にはどうだっていいことだもの…
メイベル市長ー!
…ではそちらの件は協会にお任せいたします
どうかよろしくお願いしますね

あ…あの…
アガットさんは大丈夫かな…？
ひとりで追いかけて行っちゃって…
冷静でいてくれればいいのだけど…
さすがにそうもいかないでしょうね
アガットにとってこのボース地方は生まれ故郷なわけだし
そうなんですか!?
ええ
ここから北の方にラヴェンヌ村って小さな農村があって
アガットはその村出身だったはずよ
おおーい！おまえさんたち！
ルグラン爺さん？
いいところに戻ってきてくれた！

大変じゃ！
たった今協会に連絡があってな！
あの竜が
今度はラヴェンヌ村を襲ったらしい!!

ひどい…
こんなのって…
そこの方!!
大丈夫ですか!?
あたしたち遊撃士協会の者です!!
おお…協会の…
わざわざボース市から来てくれたんじゃな
わしはラヴェンヌ村村長のライゼンじゃ
呼び立ててしもうてすまんかったのう
そんな…とんでもない!
みなさんご無事でしたか!?

村の者は全員無事じゃ
果樹園は竜に焼き払われてしもうたが
幸い住居への延焼はまぬがれたしの
あたしたちに協力できることはありますか？
ありがとうわしらはもう大丈夫じゃよ
それよりも…
すまんがアガットのことを頼めんじゃろうか？
アガット!?
《重剣》と呼ばれているこの村出身の遊撃士でな
ついさっきまで一緒に消火活動を手伝ってくれてたんじゃが
竜が北に飛び去ったことを伝えたら
血相を変えて走り去ってしまったんじゃよ

アガット…まだ竜を追いかけているんだわ
頼む遊撃士殿
あやつのことが心配じゃ
あの思いつめた様子では
どんな無茶をしないとも限らん——
ギャアアァ

ドドゥ
よし
それでいい
…データを取るにはまだしばらくの時が必要か…
まったく面倒な仕事を押しつけてくれるものだ
…何が面倒だと…？

おまえは…
その金色の剣
やはりあの時の赤い隊長か
ずいぶん派手にやらかしやがって…
逮捕だの悠長なことを言うつもりはねぇ…！

そのすましたツラごと
八つ裂きにしてやるよ!
威勢のいいことだ
だがあの程度派手というほどではあるまい?
10年前おまえが見た光景に較べればな

ラヴェンヌ村出身の正遊撃士
《重剣》アガット・クロスナー
経歴は一通り調べさせてもらった
…やはりおまえはどこか俺と似ているようだ
…クク…
似てる…
…だと?
…何にも知らねぇ野郎が…
ギュッ

適当なこと
抜かすなぁぁ!!
スッ
うらあ!!
フッ
ちっ…
…だりゃあ!!

腕の差が歴然なのはわかっているはずだ
なのになぜあえて一人で挑む
勝算なんぞ
てめえは気に食わねぇ…!
知ったことか…
ただそれだけなんだよ!!
…やれやれ
その程度か…

竜を使うまでもない
あ?
ぱしん!
が…っ
似たところもあるが
俺とおまえは決定的に違っている
それは
剣を振るう理由だ
な…
俺が剣を振るうのは
人を捨て修羅となるため

しかし おまえのそれは
ただ己の空虚を 充たすがためだけだ
重き鉄塊を 振るうことで
哀しき空虚を 激情で充たす
怒りで心を 震わす間は
哀しさから 逃れられる からだ

だがそれは 欺瞞にすぎない
そして欺瞞を 持つ者が
前に進むことは ありえない
…やめろ…
今のままでは おまえは
どこまでも 半端なままだ
黙れ…

アガットさん!?
うらぁああ!!
ク・・・
無様だな

…さてと
そろそろ
時間のようだな
ド…

…ま…
まだだ…
まだ…
終わっちゃ
いねぇぞ…!
この期に
及んで
まだそんな
鉄塊に
すがるのか…
…いいだろう
至らぬ身のまま
果てるがいい

だめーっ!!
アガットさぁん!!
アガットさん!? 大丈夫ですか!?
チビスケ
なんで…ここに…
す…すぐに手当てを…
ぴゃー…っ
…あ…
あう…
ティータ!
アガット!

く…っ
お姉ちゃん!
ば…馬鹿野郎…っ
いいから…とっとと逃げろ…!
ばっ!
こう…
こないでくださいっ
でないとう……
撃ちますっ
ラッセル博士の孫娘
ティータ・ラッセルか
天才少女と聞いていたがいささか無鉄砲すぎるな…
そこをどくがいい
ど…どきませんっ
わたし…

どっ
ガシャン
あう…
ティータ!!
女子供とて関係ない
必要あらば
斬る

貴様…!!
おまえもだ
いい加減…
…そこをどけと言っている
ど……
どきません

チビスケ…
わたしは！
アガットさんに助けてもらってばっかりだから！
こういう時しかお返しすることができないから…
…ううん
違う…
…ぶっきらぼうで
いっつもわたしのことチビスケって子供扱いするけど…
フキゲンな顔ばかりして

本当は…とっても優しくて
いつも見守っていてくれて…
…大好きで
大切な人だから…！

だから
わたし
ぜったいにどきません!!
健気なことだ
邪魔も入ったようだし今日はこれで退いてやろう
え…
なに!?
ドドドド
あの艇は…

王国軍の警備艇!!
ようやくのお出ましか
あっ
ま
待ちやがれ…
忘れるな
アガット・クロスナー

欺瞞を抱えている限り
おまえは何者にもなれない
大切なものを守ることもな
待ちなさいよ!!
《剣帝》!!
エステル・ブライト
おまえはおまえで心しておけ
今回の実験が終われば計画は次の段階に移行する
気を引き締めなければ必ずや後悔することになるぞ

ドドド
おのれ竜め!!
逃してなるものか!!
行くぞ
古竜レグナート!

逃げられてしまったか
モ…
モルガン将軍…
ど…
どうしてここに…？
何を異なことを
ボースを襲った厄災を取り除きに来たに決まっておろうが

あ…
ありがとう！モルガン将軍
とっても心強いわ！
あたしたちだけじゃ…
きっと無理だったけど
でも！
王国軍が力になってくれるなら…！
飛行船があれば
空を飛ぶ竜もなんとかできるかも！
行きましょう！モルガン将軍！
今ならまだ追いつけ…
いや
今は深追いすべきではない

警備艇単機では追いついたとて何もできまい
艇の導力砲では竜に傷をつけることすらできなかったのだ
ここは一旦引いてしかるべき対策を立てたのち改めて行動するべきであろう
そ…そっか…
…うん
わかったわ
ならば
おぬしらはここで手を引くがいい
ここまでご苦労であったな
へ…
ちょ…
ちょっと待ってよ!!
手を引けって…どういうこと!?
将軍ってば!
まだ遊撃士(あたしたち)を目のカタキにしてるわけ!?

そうは言っておらん
だったら
だが竜を相手にしておぬしらに一体何ができるというのだ?
言っておくが
軍人ではない人間を軍用艇に乗せることなどできんぞ
おぬしらも…ボースやラヴェンヌ村の被害を目の当たりにしただろう?
敵は人ひとりの力など意味もなさぬほどの強大な相手だ――
これはもはや
戦争と言っても過言ではない

戦争ならば
我々戦争のプロに任せておくがいい
もう二度と
戦いに一般市民を巻き込んではならぬのだ…
モルガン将軍!
そうだな…
おまえたちは《蛇》の拠点捜索に集中してもらえると助かる
で…でも…!
遊撃士は探索のプロでもあるのだろう?
…ざけんな……
ア…アガットさん
なあ…将軍閣下…
戦争はプロに任せろ…だと
…そりゃ
本気で言ってんのか?
無論だ
人を守るだけの遊撃士と違って
我々軍人は国を守らねばならん
民と国土の双方を守る
それができるのは軍だけだ!

笑わせんじゃねぇ!!
そうやって!
グググ
あとからノコノコやって来やがって…!
アガットさん!
いつもいつも
てめぇらは間に合わねぇ!!
でかい図体を素早く動かせず!
足並み揃えることばかり考えて!
命令なしじゃ何もできず!

守れるはずのものも
今回も!!
守れねぇ!!
10年前の戦争でもなぁ!!
お…おぬしもしや…
誰が任せて…
おけるかってんだ…
今度は…
今度こそは…
俺が…この手で…
…ミーシャを…

アガットさん!!
みっみなさんっ
とにかくアガットさんの手当てを…!!
…とりあえずラヴェンヌ村まで送ろう
村にはこやつの家もあることだしな
モルガン将軍…
アガットのことを知ってるの…?
一度だけ…
こやつに会っていたことを思い出してな

10年前
《百日戦役》が終わった直後
ラヴェンヌ村の村人たちと
こやつの妹の
墓碑が建てられた時のことだ――

10年前…このラヴェンヌ村の近郊で
帝国軍と王国軍の激しい衝突があったのだ
その戦闘で指揮を執っていたわしは
ラヴェンヌ村を守るため大規模な防衛線を張り巡らせた

ところがその防衛線が
逆に帝国軍の苛烈な攻撃を招いてしまった
放たれた帝国軍の焼夷弾はラヴェンヌ村を火の海と化した――
なんの罪もない大勢の村人が犠牲になった
あやつの妹も
そのうちの1人だった

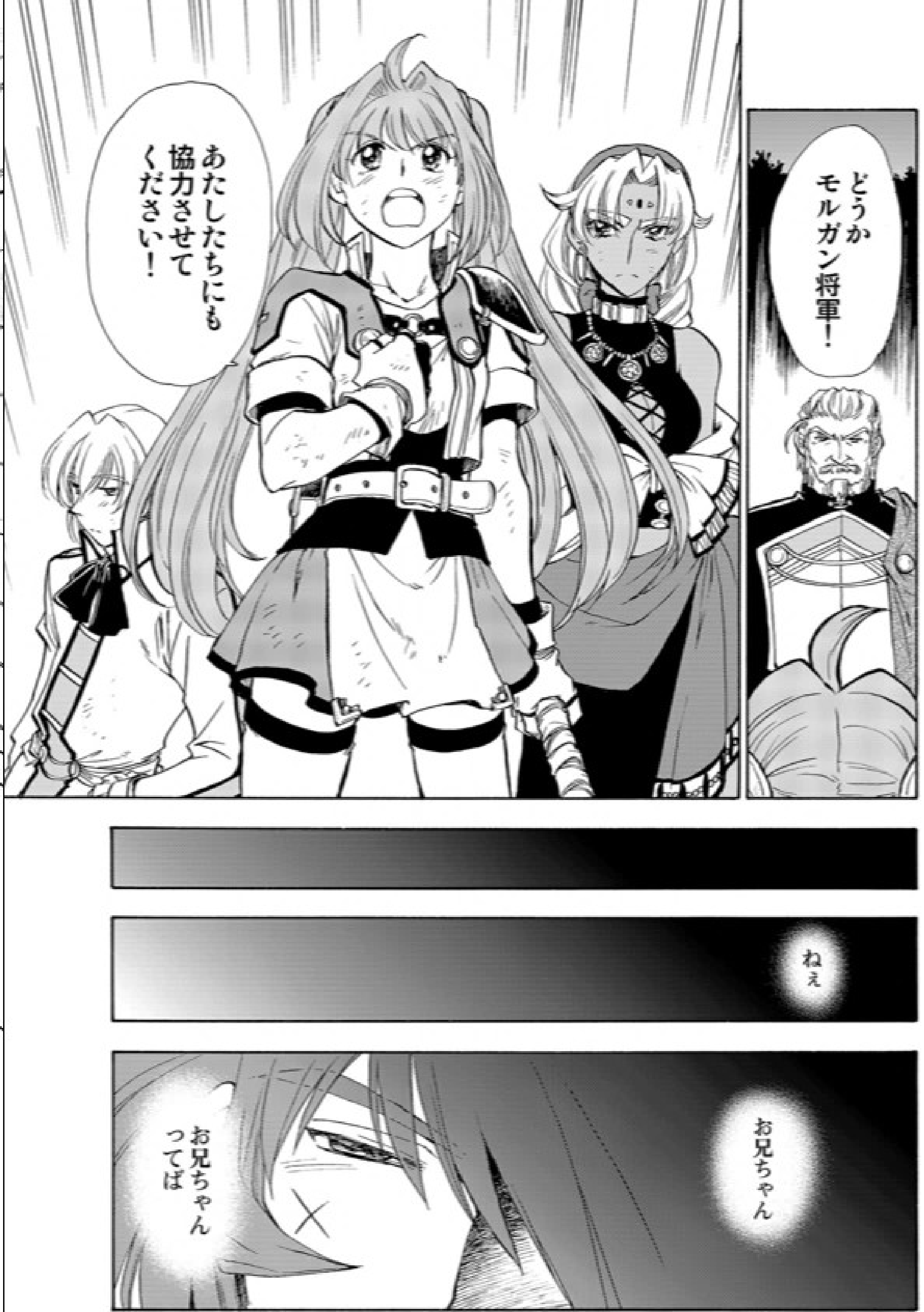
村の犠牲者の葬儀にはわしも軍代表として出席をした
その時会った赤毛の少年の目を今でもはっきりと覚えておる
底知れぬ哀しみを怒りでねじ伏せるような
痛々しい眼差しをな
そんな目をさせたのは
やはりわしなのだろう

将軍閣下
あまりご自分を責めなさるな
それにのぅ…
アガットが責めていたのは
実は閣下でも帝国軍でもないんじゃよ
え？
無論 決してそんなことはないんじゃが
アガットはミーシャの死を自分の責任のように感じてしまってな
激しく自分を責めた挙句
ひとりで村を飛び出してしまったんじゃ

どうすればミーシャに償えるか
その答えを探すために
じゃが…
どうやらあやつは未だ答えを見つけておらぬらしい
10年前と同じように
深い悲しみと自分への怒りに
囚われてしまっておるようじゃ…
…ねぇ
モルガン将軍
なに?
遊撃士には軍にはない強みがあるわ
やっぱりあたしたちも竜対策に協力させてくれない?
フットワークの軽さとか市民との距離の近さとか…
軍人さんとは違う立ち位置で物事を見ることもできるはずよ!

しかし我々は…
アガットが遊撃士になったのは
きっとそうしたところに可能性を感じたからじゃないかと思うの
どうしたら妹さんに償えるのか
その答えを見つける可能性を…
その意味ではアガットが遊撃士を選んだのもすごく納得できる気がする
あたしの父さんも
お母さんを亡くしたことがきっかけで遊撃士になったから…

遊撃士はただ人を守るだけだって将軍は言ったけど
人を守るってことは
その人たちが住んでる国を守るってことにも繋がってるんじゃないのかな?
軍と遊撃士は違うけど
目指すところは同じはずよ!
目の前で困ってる人たちの
力になるために!
あたしも
自分にできる精一杯のことはしておきたい!!


どうか
モルガン将軍！
あたしたちにも
協力させて
ください！
ねぇ
お兄ちゃん
お兄ちゃん
ってば

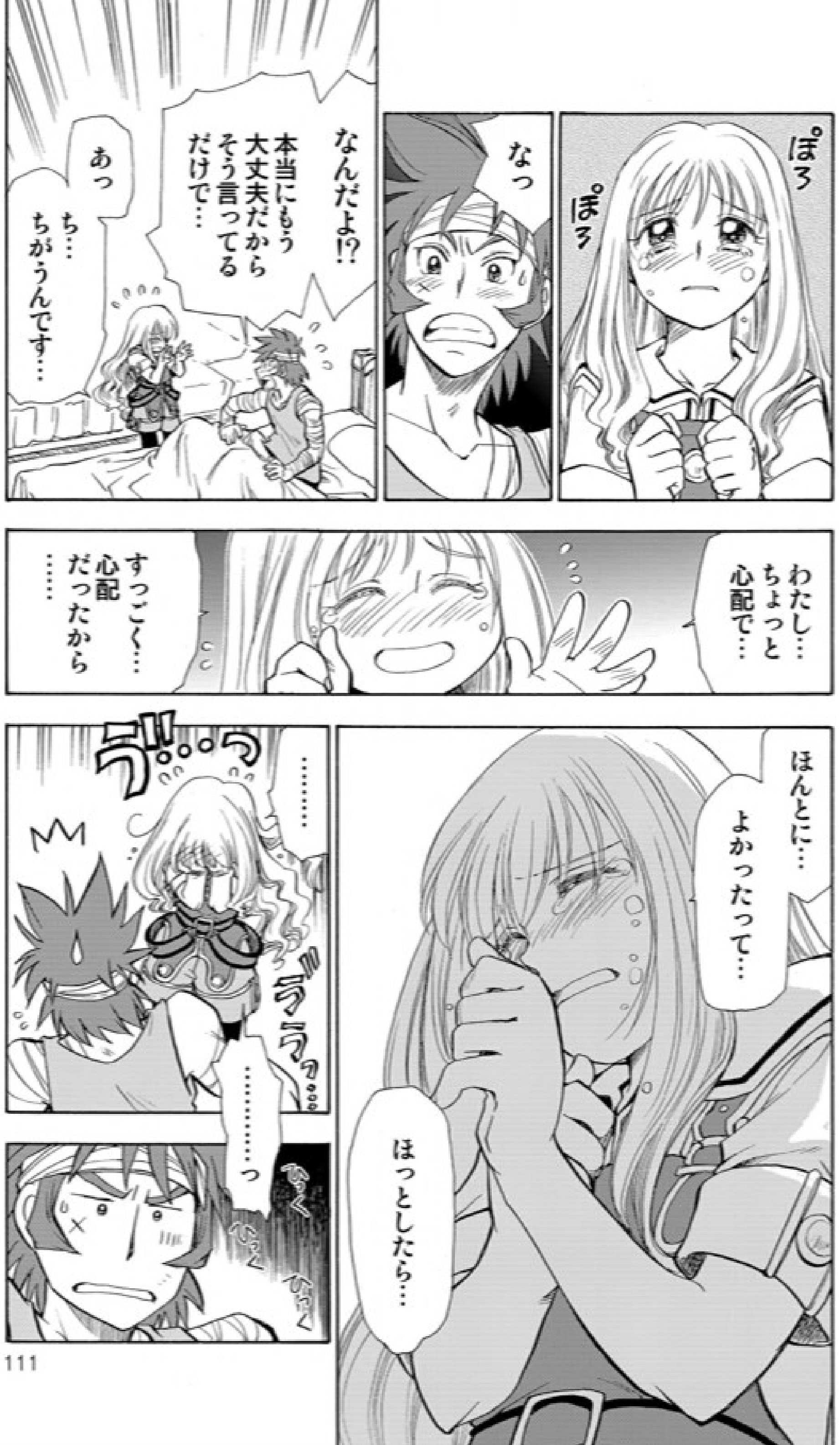
ミーシャ？
今度の誕生日は
楽しみにしててね？
お兄ちゃんが
喜びそうな物を
プレゼントして
あげるから♪
喜びそうな
物…？
美味い
ご馳走か？
も〜っっ
なんでいつも
そうなるのよぅ
答えは…
わたしの
手造りの
アクセサリー
でーす！

はぁ？
俺は女じゃねぇんだぞ？
わかってないなぁ
今は男の子もオシャレする時代なんだよ
これでぶあいそーなお兄ちゃんもモテモテ間違いなし！
だけど…アクセサリーって…
あのなぁ……
…ダメかなぁ？
わたし…お世話になってるお兄ちゃんにお礼がしたくて
一生懸命…作ってるんだけどな…
…楽しみにしてるから頑張ってくれよな…
キャー♡
うんっ！
……
…ね
アガットお兄ちゃん

いつもいつもありがとう
わたしのことを守ってくれて

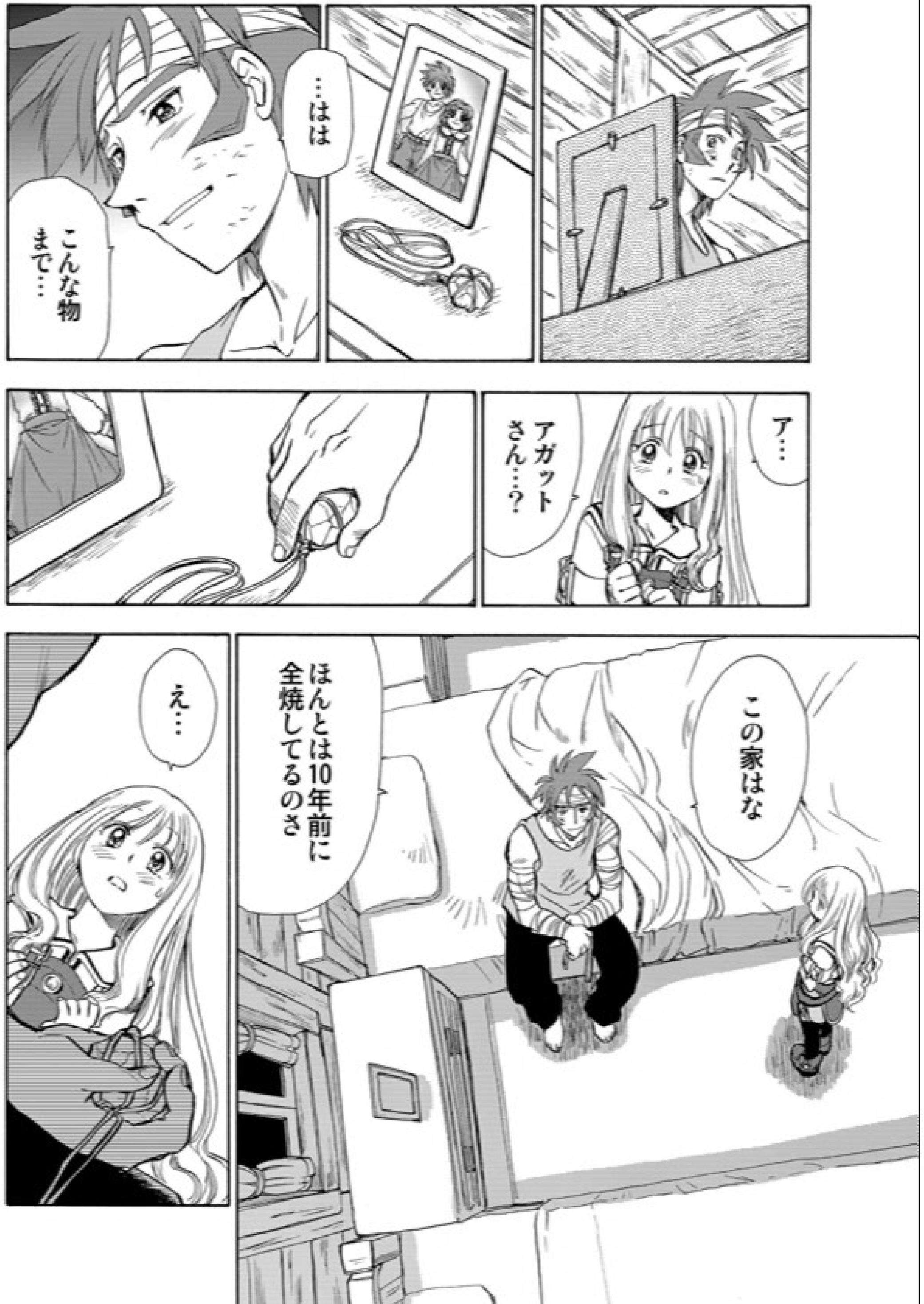
…うん
こんなものかな？
…ミーシャ？
アガットさん！
目を覚ましたんですね！
チビスケ…

あのあのっ
身体は大丈夫ですか!?
気分は!?
どこか痛いところはありませんか!?
ああ…
別になんとも…
あっ
あっ
え…えっと…
エステルお姉ちゃんたちは一旦ボースの街に戻りました
竜の対策はお姉ちゃんたちに任せて…
アガットさんはゆっくり休んでくださいって…
いや！
体力はもう問題ねぇ
ケガも勝手に治るだろ
ゆっくりなんてしてられ…


ぽろ
ぽろ
なっ
なんだよ!?
本当にもう大丈夫だから そう言ってるだけで…
あっ
ち… ちがうんです…
わたし… ちょっと 心配で…
すっごく… 心配 だったから ……
ほんとに…
よかったって…
ほっとしたら…
………
……………っ
ひっく ひっく ひっく

ぽん
悪い
ぐりぐりっ
色々と心配 かけちまったな
ぴゃ
ひとりで 突っ走って 勝ち目のない ケンカを やらかして
しまいには… おまえに あんな無茶を させちまった
俺は… 大馬鹿野郎だよ
アガットさん…?

そ…そうだ
あのあの…アガットさん
村長さんから材料をもらってスープを作ってみたんです
お腹すいていませんか？
もし…よかったら…
…って
ちょっと待て…
ここは…
俺の家…
…か？


…はは
こんな物まで…
ア…
アガットさん…？
この家はな
ほんとは10年前に全焼してるのさ
え…

帝国軍の焼夷弾が村に撃ち込まれてな
あっという間に黒コゲになっちまった
その後村長たちが物好きで建て直したのは知っていたが…
まさか家具や内装まで
揃えていたとは思わなかったぜ
も…
もしかして…その時に…
…ミーシャさんは…

…俺の誕生日にあわせてな
プレゼントを用意していたらしいんだ
手造りの…
俺が喜ぶ物を…ってな
帝国軍の攻撃から山道へ避難する途中で
突然あいつは家へと引き返して
そこに焼夷弾が落ちた

助け出した時には もう手遅れだった
ひどい火傷を 負った その手の中には
俺への プレゼントが しっかりと 握り締められて いた…
こんな物の ために…
なのに…
なにもかも 投げ捨てて 荒れた暮らしを していた時も
こいつだけは… どうしても 捨てられなかった
何度思ったか わからねぇ
こんなただの 石コロを…
…情けない 話だろ?

そ… そんなこと…
実際 情けねぇん だよ
こいつを 眺めている 間は
俺は怒りを 忘れられずに すんだ
俺はこいつがなきゃ 生きてこられなかった んだからな
え…?
あいつを 助けられ なかった…
不甲斐ない てめぇ自身への 怒りをな…!
そうして かき立てた怒りを 重剣に乗せて 叩きつけることで
俺はかろうじて てめぇ自身を 保ってきたんだよ…!

欺瞞に陥って前に進めない半端者…
あの野郎の言う通りじゃねぇか
アガットさん…
いやもっとタチが悪いか!?
都合の悪いことから目をそらして逃げてるだけのクソ野郎…!
ハハハ…!!
こいつは傑作だぜ!!
俺が一番嫌いな負け犬ってわけだ!!

わたし…
アガットさんの気持ちは…
ちゃんとわかってあげられないけど…
だけど…
きっと…
これだけは…
…ミーシャさんの代わりに…
これだけは…言わせてください…

わたしの大好きなお兄ちゃんを
バカにしないでっ!!
アガットお兄ちゃんのこと
なんにもわかってないくせにっ!!
お兄ちゃんのいいところはわたしが一番よく知ってる!!

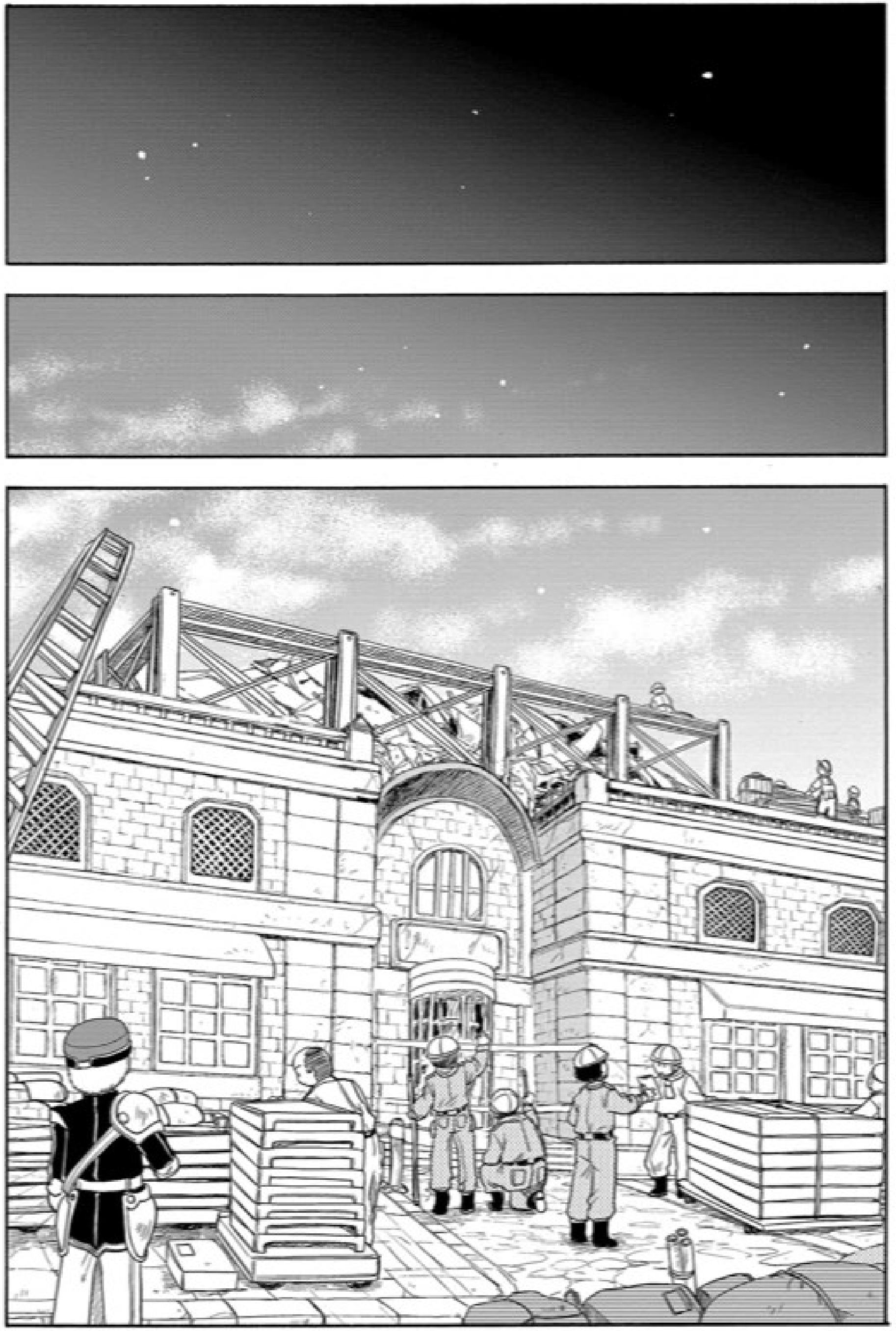
悪く言ったり
したら
たとえ
お兄ちゃんでも
許さないん
だからあ…!!
…チビスケ…

はぁ!!
…そうか…
俺は
俺のことを
何にもわかっちゃ
いない…
…のか…
…はは
まったく
その通り
だぜ
ア…
アガットさん…
あわわわわ…
ご…
ごめんなさい
わたし…

よく気づかせてくれたな
ありがとよ
ティータ

てめぇのチンケな物差しで
てめぇ自身を計っても仕方ねぇ…
…だったらせいぜい足掻いてみるさ
怒りも哀しみも関係なく
答えが見つかるまで
まっすぐにな!

そうすりゃ
こいつを持ち続けてる意味も
いつかわかるだろうよ



どうやら王国全土で竜への不安が広がってるようじゃの

その件について昨夜　女王陛下が声明を発表された
近々　王国軍が大規模な竜捕獲作戦を決行するとのことじゃ
さすがに協会とはスケールが違うわね…
…とにかく今回の竜の襲撃も結社の執行者によるゴスペルの実験なのよね？
だったらあたしたちは再びボース地方に現れる可能性に賭けてみる…？
でも…
今回の実験はボース地方だけで終わるものじゃない気がするの
確かに
竜の機動力をもってすればリベールのどこにでも飛んで行けるだろうしね

竜の居場所さえ
わかれば対策も
取れるんじゃが…
それまでは
各支部で
警戒するしか
ないかのう…
まったく
モルガン将軍も
困ったもんじゃ
どうしてそこまで
遊撃士を目の敵に
するんじゃか…
ジリリリリン
はい
はい
こちらは
遊撃士協会
ボース支部じゃが…
…ふむふむ…
…ほうほう…
…なんと！
……あい
わかった!!
LANDINGPORT
BOSE
モルガン将軍！

ありがとう!
あたしたちを竜の捕獲作戦に参加させてくれて!
遊撃士も
この軍の船に乗せてくれるのね!?
馬鹿もん!
勘違いするでない!

言ったであろう?
軍人以外の人間を軍用艦に乗せるわけにはいかぬと!
え
ええ…!?
だから
おぬしたちには…

あれ…？
あれは…
あの船は…！
ア…
アルセイユ!?
まさか…あたしたち
女王様の船に乗るの…!?
わたしたちも乗ってるよー♡
え

ドロシー!?
ナイアル!!
ど…どうして ふたりまで アルセイユに 乗ってるのよ!?
もちろん 飛行艦隊と 古代竜の対決を 密着取材 するためさ♡
えええ!?
ぐだぐだ 言っとらんで さっさと来んか!
乗らぬというなら 置いていくぞ!
あっ
はいっ

これより
王国軍による 《竜捕獲作戦》を 開始する!!
《アルセイユ》
発進!!

本作戦は飛行部隊を中心に遂行するものだ
なお地上部隊は竜の追跡を行わず
襲撃に備えて警備と防衛に徹する
これは竜の飛行能力から襲撃が広範囲にわたることを想定し
ボース地方のみならずリベール各地に人員を割く必要があるからである

飛行部隊はアルセイユに加えて警備飛行艇12隻を投入し
まずは竜の索敵を行う
現在広域レーダーを搭載した警備艇がリベール全域をくまなく哨戒している
竜が上空に現れたら確実に補足できるはずだ

竜を発見した後は全警備艇を急行させ
ガトリング砲で牽制しながら竜をヴァレリア湖上空へ誘導する
追いたてられた竜を麻酔弾を搭載した警備艇が迎撃
ありったけの弾を撃ち込んで目標を沈黙させる
…これが
《竜捕獲作戦》の概要だ

万が一竜が麻酔弾でも倒れなかった場合は?
その時は捕獲から退治に切り替え集中砲火をもって撃破する
伝承の古代竜を駆除するのは忍びないと仰る女王陛下の意向に反することになるが
いたしかたあるまい
そ…そうだ
竜にはレーヴェって男が乗ってるかもしれないの!
そいつは《結社》の執行者なんだけど…
うむ
ゴスペルによる導力停止現象の危険…だな?
ラッセル博士によれば現象の連鎖範囲は5アージュだという

故に各艦艇には
10アージュ以上
竜に近づかないよう
徹底してある
ならば問題
ないはずだ
この作戦に問題が
あるとすれば…
竜が発見されるまで
待たねばならん事
くらいだろうな
まぁそれまでは
士気でも高めて
おけばよかろう
事が動き次第
アナウンスで
知らせよう
それまでは艦内で
ゆっくりくつろいで
いるといい

いやはや…
恐れいった
万全の対策と
いうわけだ
これなら
いくら古代竜でも
逃げ切れるとは
思えないわね
なんか…
無理言って
参加させて
もらったけど…
将軍にとっては
あたしたちなんて
お呼びでないって
感じかも…
そんな
ことはないさ
でなければ
わざわざ
王室巡洋艦(アルセイユ)を
駆り出したり
軍内部の反対を
振り切ってまで
君たちを同乗させる
必要などないのだから

万全の計画があるとはいえ
結果がどうなるかはわからない
だからこそモルガン将軍は今作戦を遊撃士協会と共に臨む決断をされたんだ
もちろん我々も最善を尽くす
どうか諸君も万が一に備えて万全の準備をお願いする!
ようエステル
作戦会議は終わったのか?
うんまぁ一通りね

それにしても相変わらず抜け目ないわね
どうやってこんなところまでもぐり込んだの?
人聞きの悪いこと言うなよな
今回俺たちに同行取材を依頼してきたのは軍の方からなんだぜ?
ふっふっふっ
ええ―――っ?
うそだぁ―
おまえも相変わらず失礼な奴だな…
まぁ…
今度の竜はインパクトが大きすぎるからな
リベール通信の報道を通じて国民の動揺を防ぎたい
…ってことらしいぜ

今作戦でわざわざ王室巡洋艦（アルセイユ）を持ってきたのも
竜に怯える人々に対する女王陛下のご配慮も含まれてるんだろーし…
そういった意味でも作戦に参加できたことは
ちょいと誇らしい…ってな
それもこれも今まで俺らがいい記事を書いてきたってことさ！
うちを指名したのは過去の報道を評価したからって話だしな！
過去の実績があって
それが全部今につながってるわけだ
過去があって今がある
…か
そ……そういやエステルよ
例の…写真は…
ビビィィー

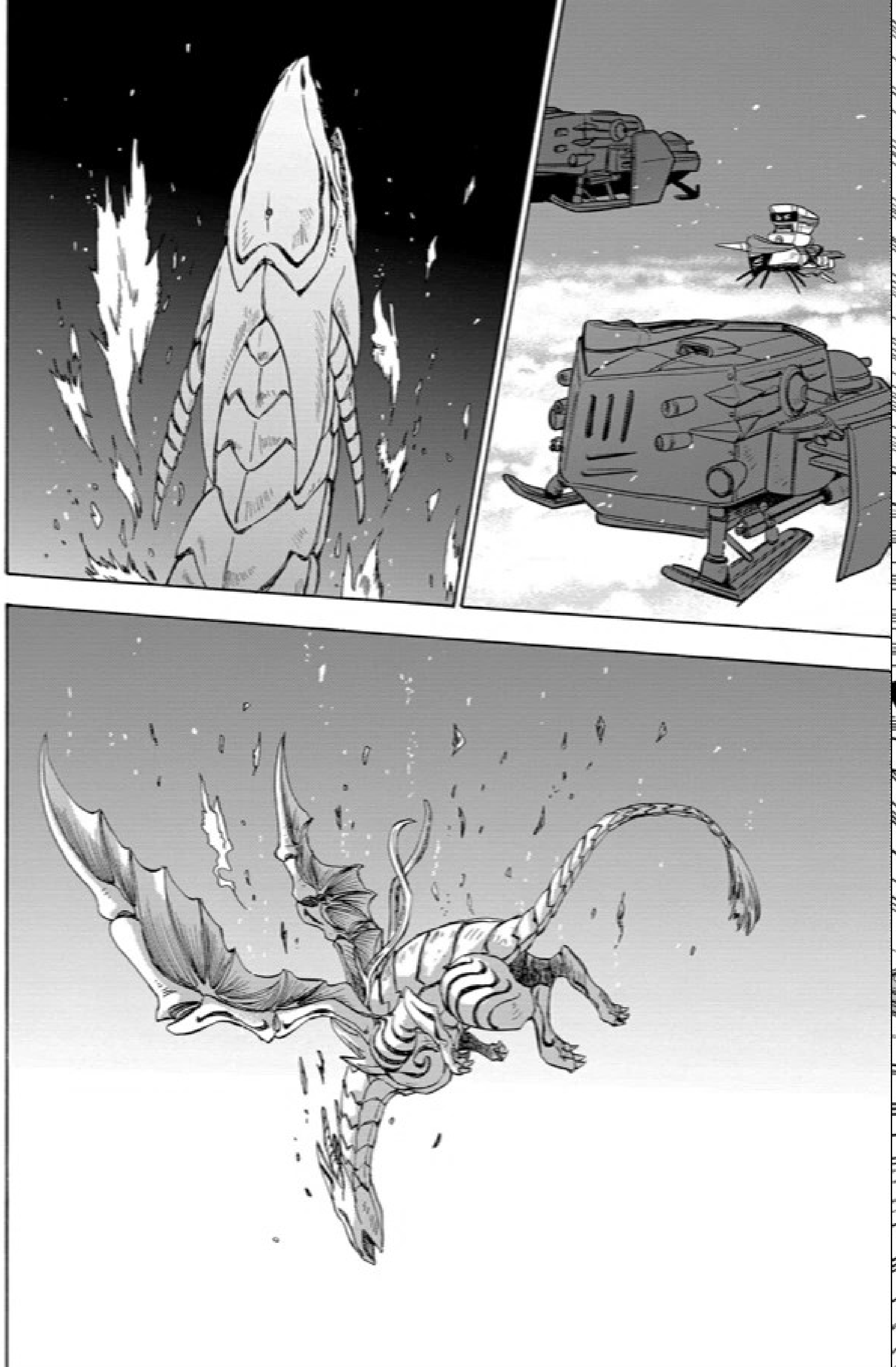
ビビィィー…！
な…なんだ?
哨戒艇ベルダー号より連絡！
飛行中の竜を発見したとのこと！
全クルーは直ちに持ち場へ向かえ!!
ばっ
モルガン将軍!!
竜はどうなった!?

竜は現在マルガ鉱山上空を飛行中です!
マルガ鉱山…
ロレントに現れたんだわ
よし! このまま竜を湖に誘導する!
アイサー!!
作戦行動中の全艦隊に告げる!!
迎撃地点はレナート川河口付近に設定!!
全哨戒艇はフォーメーションBで川沿いに竜を誘導!!
全攻撃艇は迎撃地点へ急行せよ!!
タタタタタタ
タタタタタタタタタ

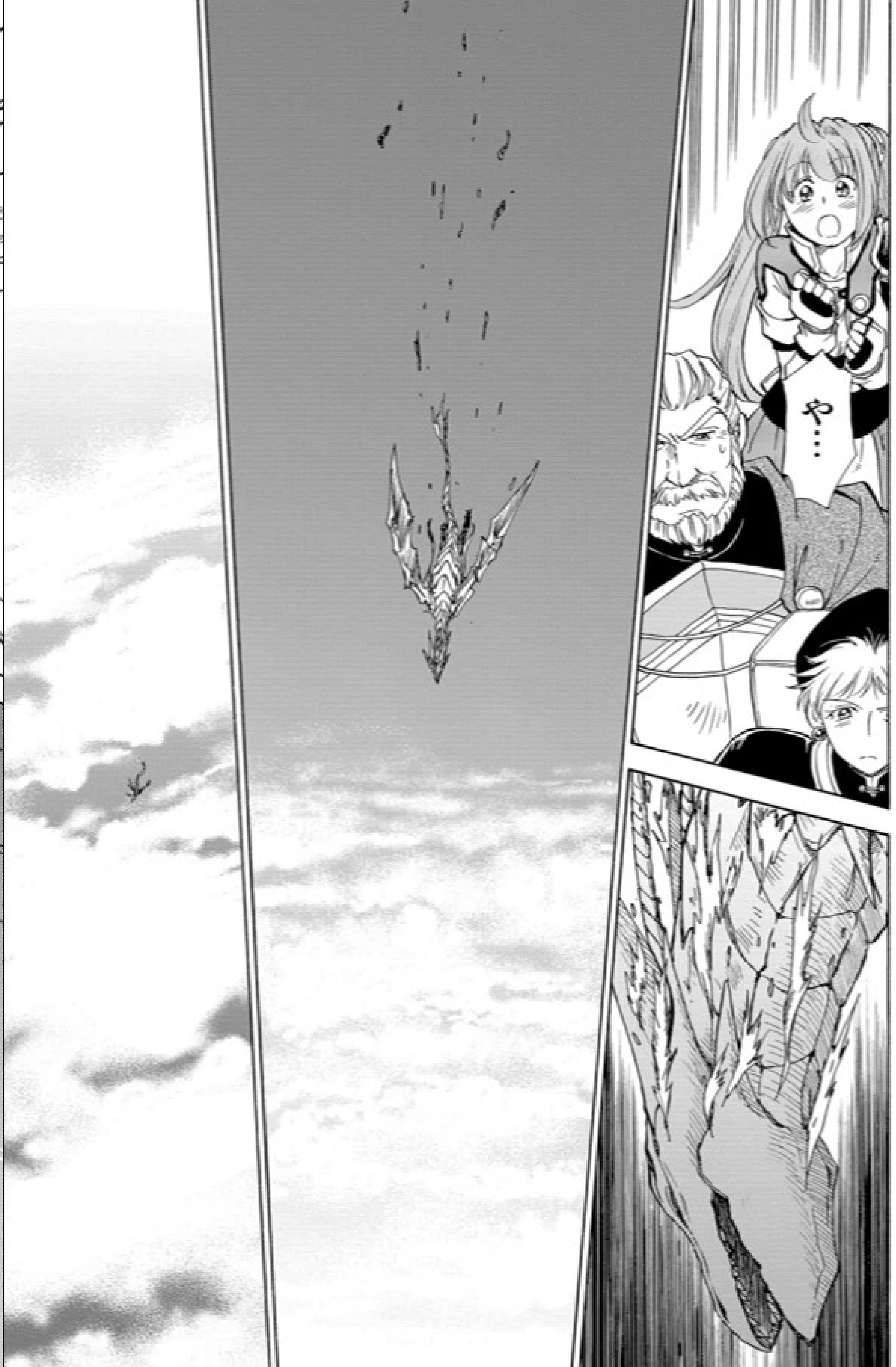
ヒュオッ
ギャアアア
タタタタタタ
全攻撃艇所定の配置につきました！
麻酔弾の装填も完了です！
全攻撃艇砲撃用意！
竜の出現と共に攻撃を開始する！

竜だわ!!
来た…!
撃てい!!

ドドドドドド



ドドド
ドドド
ドドド
ドドド
ドドド
ドドド
ドドド
ドドド


や…

…ヴァレリア湖上に竜が墜落したのを確認!!
竜を捕獲します!!

英雄伝説 空の軌跡SC
～絆の在り処～ ②

著　者　啄木鳥しんき
原　作　日本ファルコム

発行人　田中一寿
発　行　株式会社フィールドワイ
〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台3-1-9日光ビル3F
TEL 03-5282-2211（代表）

カバーデザインワーク　啄木鳥しんき
本文・装丁フィニッシュワーク　Techno Deco Co.,Ltd.

本書の全部または一部を複写（コピー）することは、著作権法上の例外を除き、禁じられております。

©Nihon Falcom Corporation. All rights reserved.
©KITSUTSUKI SHINKI
©2018 FIELD-Y

好きなことを続けられるのは幸せなことです。本当にありがとうございます。